バックアップおよび復元
ユーザ ガイド

改訂第 3 版：2009 年 3 月

初版：2007 年 6 月

製品番号：448223-294

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータでは使用できない場合があります。

目次

1 概要

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。システムを導入後、最初のソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐにリカバリ ディスクを作成することをおすすめします。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

オペレーティング システムに組み込まれているツールおよび[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャ）ソフトウェアは、システムに障害が発生した場合に以下のタスクによって情報を保護および復元できるように設計されています。

- リカバリ ディスクを作成します（[HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能）。システムに障害が発生した場合または動作が不安定になった場合に、リカバリ ディスクを使用して、お使いのコンピュータを起動（ブート）し、オペレーティング システムとソフトウェアを修復することができます。
- 重要なシステムファイルを保護するために定期的に情報をバックアップします。
- システムの復元ポイントを作成します（オペレーティング システムの機能）。システムの復元ポイントを使用すると、以前の状態までコンピュータを復元することで、コンピュータへの望ましくない変更を元に戻すことができます。
- プログラムまたはドライバを復元します（[HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能）。この機能は、システム全体の復元を実行しないでプログラムまたはドライバを再インストールするために役立ちます。
- システム全体を復元します（[HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能）。[HP Recovery Manager]を使用すると、システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合、オペレーティング システムとソフトウェアを修復することができます。[HP Recovery Manager]は、ハードドライブ上の専用の復元用パーティション（一部のモデルのみ）またはユーザが作成したリカバリ ディスクから実行できます。

注記： お使いのコンピュータに SSD（Solid State Drive）が搭載されている場合、復元用パーティションが存在しない可能性があります。パーティションがないコンピュータには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。復元用パーティションがあるかどうかを確認するには、**[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択します。復元用パーティションがある場合、ウィンドウの[ハード ディスク ドライブ]セクションに[HP_Recovery]などの復元用ドライブが表示されます。

2 リカバリ ディスクの作成

システムに重大な障害が発生した場合や動作が不安定になった場合にシステムを工場出荷時の状態に復元できるように、リカバリ ディスクを作成しておくことをおすすめします。リカバリ ディスクは、コンピュータを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

リカバリ ディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。ソフトウェアを使用して作成できるリカバリ ディスクは 1 セットのみです。

注記： お使いのコンピュータにオプティカル ドライブが内蔵されていない場合は、外付けオプティカル ドライブ（別売）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、または HP の Web サイトからお使いのコンピュータに適切なリカバリ ディスクを購入できます。

リカバリ ディスクを作成するには、事前に以下のガイドラインを確認してください。

- 高品質な DVD-R、2 層記録 DVD-R、DVD+R、2 層記録 DVD+R、BD-R（書き込み可能なブルーレイ ディスク）、または CD-R ディスクを用意する必要があります。これらのディスクは、すべて別売です。DVD および BD には、CD よりはるかに大きな容量を書き込むことができます。CD を使用すると最大 20 枚のディスクが必要になる場合でも、DVD または BD では数枚のみで済みます。

  注記： [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャ）ソフトウェアは、CD-RW、DVD ±RW、2 層記録 DVD±RW、および BD-RE（再書き込み可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクには対応していません。

- このプロセスでは、コンピュータを外部電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクは、1 台のコンピュータに対して 1 セットのみ作成できます。
- オプティカル ドライブにディスクを挿入する前に、各ディスクに番号を付けておいてください。
- 必要に応じて、リカバリ ディスクの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、ディスク作成プロセスを続行するか尋ねられます。

リカバリ ディスクを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャ）**→[Recovery Manager]**の順に選択します。

   [HP Recovery Manager]が起動します。

2. **[Advanced Options]**（詳細オプション）をクリックします。

   注記： コンピュータがバッテリ電源で動作している場合は、次の手順に進む前に外部電源に接続するように求められます。

3. **[Recovery disc creation]**（リカバリ ディスクの作成）→**[Next]**（次へ）の順に選択します。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。

3　情報のバックアップ

バックアップが必要なとき

- 定期的な間隔

注記： 情報を定期的にバックアップするようにリマインダを設定します。

- コンピュータを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

バックアップの方法

- [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャ）を使用してリカバリ ディスクを作成します。
- Windows®の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にディスクにコピーします。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]フォルダに保存し、このフォルダを定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくと時間を節約できます。

  画面をコピーしてワープロ文書などに貼り付けるには、以下の操作を行います。

  a. 画面を表示します。

  b. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。

  アクティブなウィンドウのみをコピーするには、alt ＋ fn ＋ prt sc キーを押します。

  画面全体をコピーするには、fn ＋ prt sc キーを押します。

  c. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して**[編集]→[貼り付け]**の順に選択します。

システムの復元ポイントの使用

システムをバックアップする場合は、システムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントによって、特定の時点でのハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。復元ポイント作成後にシステムに加えた変更を破棄したい場合に、そのポイントまで戻ってシステムを回復できます。

注記： 以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント後に作成されたデータ ファイルや電子メールには影響がありません。

また、追加の復元ポイントを作成して、システム ファイルおよび設定の保護を強化できます。

復元ポイントを作成するとき

- ソフトウェアやハードウェアを追加または大幅に変更する前
- システムが最適な状態で動作しているとき（定期的に行います）

注記： 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。

システムの復元ポイントの作成

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[システム]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[システムの保護]**をクリックします。
3. **[システムの保護]**タブをクリックします。
4. **[自動復元ポイント]**の下で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
5. **[作成]**をクリックします。

   [システムの保護]ウィンドウが開きます。
6. 画面に表示される説明に沿って操作します。

以前のある日時の状態への復元

コンピュータが最適な状態で動作していた（以前のある日時に作成した）復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[システム]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[システムの保護]**をクリックします。
3. **[システムの保護]**タブをクリックします。
4. **[システムの復元]**ボタン→**[次へ]**の順にクリックします。

   [システムの復元]ウィンドウが開きます。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

4 復元の実行

注記： ファイルの復元は、以前バックアップを行ったファイルに対してのみ可能です。お使いのコンピュータをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャ）を使用してドライブ全体のバックアップを作成することをおすすめします。

システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合、[HP Recovery Manager]ソフトウェアを使用してシステムを修復または復元できます。[HP Recovery Manager]は、リカバリ ディスクまたはハードドライブ上の専用の復元用パーティション（一部のモデルのみ）から実行できます。ただし、お使いのコンピュータに SSD（Solid State Drive）が搭載されている場合、復元用パーティションがない可能性があります。その場合、コンピュータにはリカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

注記： Windows は、[システムの復元]機能やドライバを元に戻す機能など、独自の修復機能を備えています。これらの機能をまだ試していない場合は、試してから[HP Recovery Manager]を使用してください。

注記： [HP Recovery Manager]では、出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピュータに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクから再インストールする必要があります。

リカバリ ディスクからの復元

リカバリ ディスクからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクをオプティカル ドライブに挿入し、コンピュータを再起動します。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

専用の復元用パーティションからの復元（一部のモデルのみ）

注記： お使いのコンピュータに SSD（Solid State Drive）が搭載されている場合、復元用パーティションが存在しない可能性があります。以下の手順による復元はできません。パーティションがないコンピュータには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

一部のモデルでは、[スタート]ボタンをクリックするか、f11 キーを押して、ハードドライブ上のパーティションから復元を実行できます。この操作によって、コンピュータが工場出荷時の状態に戻ります。

復元用パーティションからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャ）にアクセスします。
   - **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]**（リカバリ マネージャ）→**[Recovery Manager]**の順に選択します。

     または
   - コンピュータを再起動し、[Press <F11> for recovery]というメッセージが画面に表示されている間に f11 キーを押します。次に、**[Recovery Manager]**を選択します。

   [HP Recovery Manager]が起動します。
2. **[Advanced Options]**（詳細オプション）をクリックします。
3. **[System recovery]**（システムの復元）→**[Next]**（次へ）の順にクリックします。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。

索引